

人と人がつながるみんなの図書館

昨年11月、宮町商店街に県内初となる民営の図書館がオープン。白鳥さんは市内企業で働きながら、館長として「みんなの図書館 ぶくぶく」を運営しています。開館に至った経緯や今後の展望について伺いました。



しろうとり
白鳥みのりさん (寿町)

●みんなの図書館 ぶくぶく 館長

「気軽に立ち寄ってもらい、本との出会いや、本を起点にした交流を楽しんでほしいです」

ぶくぶくは、本棚の一区画を有料で貸し出す「一箱本棚オーナー制度」を採用した民間の図書館。この仕組みは静岡県を皮切りに全国に広がりをみせており、利用者みんなが主体となって運営する「公共空間」を目指しています。白鳥さんもこの考え方に共感し、仲間とともにオープンを決めました。

「店番も棚のオーナーが交代で務めているんですよ。オーナーは高校生から60歳代まで幅広く、棚にはそれぞれの個性の光る本が並んでいます。皆さん、自分を表現する場として利用してくれています」

に置いてくれる人がいたり、市で移住定住を担当する地域おこし協力隊が店番を務めたときには、移住者が集まり語り合うこともあったそうです。

「本を借りたり返したりする中で、自然にコミュニケーションが生まれていけばいいですね。ここは図書館ですが、おしゃべりは自由なんですよ」

ここ3年くらいで、宮町商店街は新規出店が相次ぎ、賑わいを見せています。この図書館も新しい一つの拠点となればと白鳥さんは語ります。

「地域で暮らしている人たちに繰り返し使ってもらえる場所になれば。来るたびに違う本と出会えたり、人との出会いがあったり。利用者同士がフラットで、ゆるやかにつながりあえる場でありたいですね」



開館日などは
こちらから▼



月額 2,000 円で棚のオーナーになり、棚には好きな本や紹介したいものを自由に置くことができます。それぞれのオーナーが置いたこだわりの本を眺めているだけでも楽しめますが、初期登録費用 300 円で、3冊まで借りることができます。

紙上ブログ

燕市長 鈴木力



令和4年度当初予算案を公表しました。一般会計予算の総額は、455億700万円です。前年度に比べ13・9%の増で、合併後最大規模となりました。感染症対策を継続し社会経済活動の回復を図るとともに、地域社会のDXや脱炭素社会の推進など、変化する社会環境への対応や新たな地方創生を進める内容となっています。加えて、大津分水通水100周年事業を実施し、子どもたちが未来への夢やふるさとへの誇りを持つ「日本一輝いているまち」の実現を目指します。今後、市議会3月定例会での審議を経て成案化を図ります。

※ DX (デジタルトランスフォーメーション) …社会全体の在り方をデジタル化に合わせて変革すること。

◀こちらは有料広告です。

超高速光インターネット

NCT

相談会

ドコモショップ燕吉田店

3/20日 21日(祝)
10:00~16:00

会場 **ドコモショップ燕吉田店**
(燕市吉田大保町21-37)

お気軽にお越しください!

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響を考慮し、相談会を中止・変更する場合がございます。

そのお悩み「NCT」におまかせください!

困ったピョン...

ダウンロードに時間がかかる... 通信費が高い...

電話受付時間 **9:30~17:30** (ドコモ光タイプCに関しては10:00~19:00)
※上記時間以外・土日祝・年末年始は時間外受付に転送されます。

0120-080-009

インターネット・ケーブルテレビ・電話 **エヌ・シー・ティ**

※この広報紙は、環境にやさしいペジタブル・オイル・インクを使用しています。